

施設だより

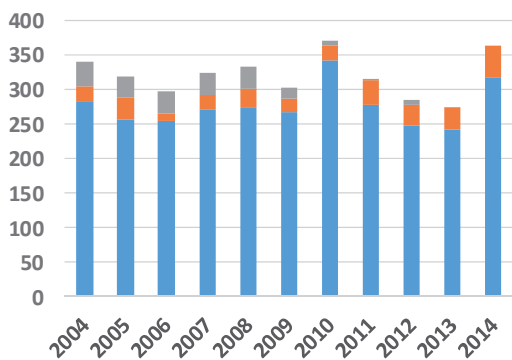
装置開発室 居室改装

装置開発室長 山本 浩史

装置開発室は、分子科学の研究に必要な実験機器の設計・製作を研究者と協力しながら行っています。製作依頼の受付は、所内の研究グループの他、2005年度後期からは所外研究者による依頼にも審査を経た上で対応するようになりました。また、2013年度からはナノテクノロジープラットフォームを窓口として、協力研究やリソグラフィ技術によるマイクロストラクチャーの製作依頼にも対応し、大学共同利用機関として全国の研究機関への技術支援を行っています。2014年度までの所内外の製作依頼件数の推移を図に示します。昨年度の製作依頼の総数は、386件（所内：362件、所外：24件）であり過去最高の受付件数となりました。

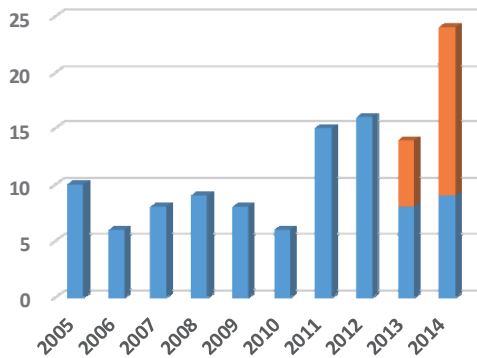
昨年度の活動報告として、居室の改装工事について紹介します。分子研の創設時から40年近く職員の事務室になっている装置開発棟204号室は、職員の増加に伴って回路グループや技術支援員が他室に移り、機械系スタッフの居室として長らく利用してきましたが、昨年度7月の技術職員の異動でこの居室も手狭になってしまいました。そのため、ユーザーフレンドリーな姿勢を強化すべく、装置開発棟全体で抜本的に部屋の見直しを行いました。改装工事は、廊下を挟んで西側にある210号室（製図室）、211号室（回路職員居室）、213号室（技術支援員居室）の壁を全て取り去り、風通しよく一つの大きな部屋に改装するもので、そこが全

職員の居住空間となります。部屋の入口には大きなガラス扉を設置し、室内に置く什器類も背の低いものを選ぶことで明るく開放的な空間になりました。特に、技術相談等で装置開発室を訪れるユーザにとっては、スタッフの在・不在が廊下からでも一目で分かり、よりアクセスしやすい環境になったと思います。入口には機械関係と回路関係共通の受付カウンターを設置してあります。カウンターにさえ来ていただければ、誰に相談していいかわからなくても、また、目的の職員が不在であっても、各種相談や工作依頼の受付、スタッフへの連絡等を行いますので、お気軽にお立ち寄りください。



■ 機械 ■ 回路 ■ ガラス

所内依頼件数の推移



■ 施設利用 ■ ナノプラット

所外依頼件数の推移



装置開発棟2F配置図



改装工事後の210～213号室の風景